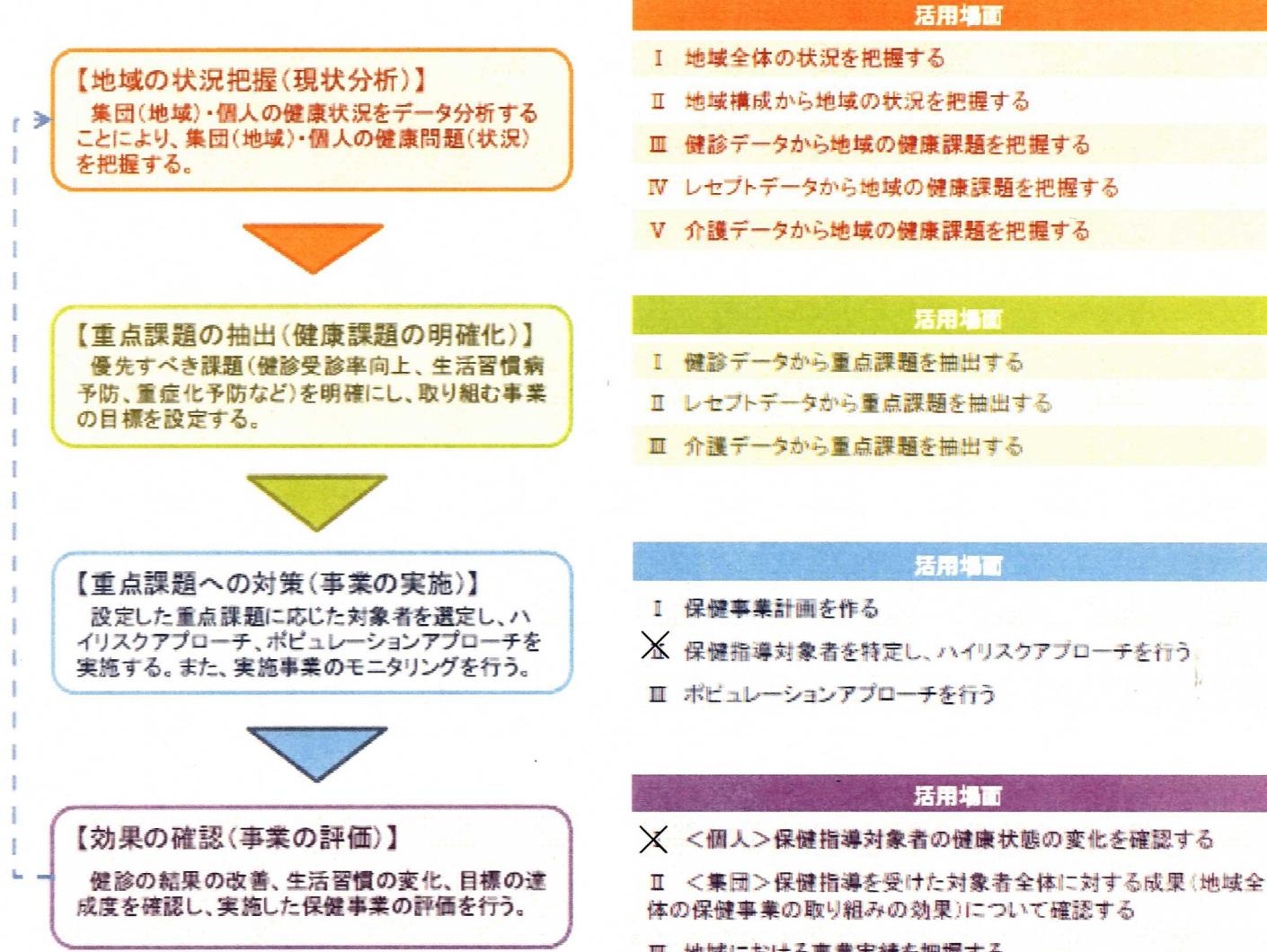


## 本システムの活用場面

本システムでは、健康・医療・介護の各種データを個人、保険者、比較情報（県・同規模・国）単位に突合・集計し、帳票として出力し利用する。出力帳票の活用場面を下記に例示する。



## ○ 出力帳票の一例 「地域全体の把握」

下記の帳票は、生活習慣、健診結果の状況、医療状況、介護状況などについて、県・同規模・国の状況と比較し、地域の特徴を把握するものである。これまで区での把握が困難であったこれらの情報を活用することで、区の特性を浮き彫りにし、施策の効率的かつ効果的な推進を図ることができる。

地域の全体像の把握																					
保険者番号 保険者名 地区	保険者(地区)	県	同規模	国	生活習慣	保険者(地区)	県	同規模	国	健診	保険者(地区)	県	同規模	国	医療	保険者(地区)	県	同規模	国	介護	保険者(地区)
人口構成	保険者(地区)	県	同規模	国	質問紙調査					受診率	61.3%	42.0%	49.8%	42.0%	千人当たり					認定率	16.9%
計	83,314	7,158,136	69,015	124,852,975	年齢別					メタボ	19.0%	18.0%	18.9%	18.0%	病院数	0.2	2.3	1.2	2.3	1件当たり円	59,547
~39歳	51.1%	46.3%	41.7%	42.8%	高血圧症	31.6%	34.2%	32.2%	34.2%	男	21.7%	27.7%	27.8%	27.7%	診療所数	2.6	35.1	20.5	35.1	要支援1	11,177
40~64歳	31.1%	33.1%	34.0%	34.0%	糖尿病	7.9%	8.1%	7.9%	8.1%	女	12.0%	10.9%	12.0%	10.9%	施設数	47.3	460.1	261.3	460.1	要支援2	16,585
65~74歳	18.7%	11.6%	12.3%	12.0%	脂質異常症	22.5%	25.0%	22.7%	25.0%	予備群	9.6%	9.9%	10.1%	9.9%	医師数	11.1	77.0	55.7	77.0	要介護1	36,928
75歳~	7.1%	9.0%	12.0%	11.2%	既往歴					男	15.3%	16.0%	15.9%	16.0%	外来患者数	727.2	679.0	720.1	679.6	要介護2	43,775
					脳卒中	2.2%	3.2%	2.3%	3.2%	女	5.0%	5.4%	5.6%	5.4%	入院患者数	15.9	14.7	15.9	14.7	要介護3	82,282
					心臓病	3.6%	5.2%	3.5%	5.2%	非肥満高血糖	11.7%	9.9%	12.8%	9.9%	受診率	743.154	694.315	735.921	694.315	要介護4	107,618
					腎不全	0.0%	0.2%	0.0%	0.2%	特定保健指導実施率	17.7%	21.4%	28.7%	21.4%	1件当たり点数	2.959	3,047	3,008	3,047	要介護5	106,416
					貧血	6.5%	10.1%	7.0%	10.1%	検査値(メタボ、予備群、ヘルル)					一酸化	2,961	3,021	2,982	3,021	2号認定率	0.4%
					喫煙	12.4%	12.9%	11.5%	12.9%	腹囲	31.3%	31.2%	32.6%	31.2%	退職	2,913	3,533	3,411	3,533	新規認定率	1.4%
					20歳時体重から10kg以上増加	34.0%	32.8%	33.0%	32.8%	男	47.3%	48.5%	49.0%	48.5%	後期	0	0	0	0	前年との認定率比較	+0.0%
					1回30分以上の運動習慣なし	58.0%	56.0%	55.9%	56.0%	女	18.5%	18.4%	19.9%	18.4%	外来					認定率比較	-0.0%
					1日1時間以上運動なし	40.4%	45.6%	39.0%	45.6%	BMI	3.9%	3.9%	3.1%	3.9%	費用の割合	62.5%	63.6%	62.9%	63.6%	有病状況	
					歩行速度遅い	46.2%	47.0%	45.4%	47.0%	男	1.4%	1.5%	1.2%	1.5%	受診率	727.228	679.584	720.070	679.584	糖尿病	17.4%
					1年間で体重増減3kg以上	16.9%	19.0%	16.4%	19.0%	女	5.9%	5.6%	4.6%	5.6%	1件当点数	1,894	1,973	1,932	1,978	高血圧症	40.2%
					食事速度					血糖	0.7%	0.6%	0.9%	0.6%	1人当点数	1,377	1,341	1,392	1,344	脂質異常症	20.8%
					遅い	25.1%	23.9%	24.9%	23.9%	血圧	6.2%	6.4%	6.0%	6.4%	1日当点数	1,131	1,234	1,181	1,234	心臓病	49.3%
					普通	65.5%	67.0%	65.4%	67.0%	脂質	2.7%	2.9%	3.2%	2.9%	1件当回数	1.7	1.5	1.6	1.6	脳疾患	22.6%
					遅い	9.4%	9.1%	9.7%	9.1%	血糖・血圧	2.7%	2.3%	2.5%	2.3%	入院					がん	6.1%
					週3回以上就寝前夕食	12.9%	13.3%	12.2%	13.3%	血糖・脂質	1.2%	1.1%	1.5%	1.1%	費用の割合	37.4%	36.4%	37.1%	36.4%	筋・骨格	42.7%
					週3回以上夕食後間食	11.2%	11.3%	10.0%	11.3%	血圧	8.8%	8.9%	8.6%	8.9%	入院率	15.926	14,731	15,851	14,731	精神	23.8%
					週3回以上朝食を抜く	6.1%	6.4%	5.4%	6.4%	血糖・血圧・脂質	6.4%	5.7%	6.3%	5.7%	1件当点数	51,610	52,339	51,869	52,339	認知症・再掲	15.0%
					飲酒頻度					初回受診者	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	1日当点数	822	771	822	771	アカイテー病	11.9%
					毎日	19.5%	22.1%	19.3%	22.1%	受診勤奨者率	60.6%	57.2%	56.6%	57.2%	1件当点数	3,805	3,839	3,893	3,839	居宅サービス	
					時々	17.3%	19.4%	17.3%	19.4%	医療機関受診率	46.5%	36.8%	43.0%	36.8%	受診率	120,977	95,076	117,142	95,076	施設サービス	
					飲まない	63.3%	58.4%	63.4%	58.4%	受診勤奨者率	14.1%	20.4%	13.5%	20.4%	1件当点数	1,138	1,223	1,197	1,229	1件当點付費	266,355
					1日飲酒量					医療機関受診率					1人当点数	145	117	140	117	千人当事業所	0.12
										非受診率					1日当点数	417	683	697	683	要介護認定者医療費(40歳以上)	

## ○ 業務における本システムの活用例

### 1、健康増進計画策定のための統計分析

○本システムで明確化した健康課題をもとに、健康増進計画を策定し、効率的かつ効果的な健康増進施策の推進を図る。また、計画で定める評価指標の評価にも本システムを活用していく。

### 2、健康づくりに関する統計分析

○医療費、健診結果、要介護状態の現状が確認できるため、予防事業などの対策を講じる際、事業への理解を求める場合に有効な資料の作成ができる。また、地区組織で取り組めるものはどういったものがあるかなど住民の自主活動などの参考にできる。

### 3、国民健康保険に関する統計分析

○本システムの「地域の全体像の把握」、「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」、「市区町村別データ・同規模保険者比較」、「人口及び被保険者の状況」などのツールを活用し保険者の特性を把握した上で、本システムの健診データ「健診の状況」、「健診受診状況」、「性・年齢別階級別保健指導実施率」、「質問票調査の状況」、「質問票項目別集計表」、レセプトデータ「医療費の状況」、介護データ「介護費の状況」など健康・医療情報の分析及び分析結果に基づく健康課題の把握を行い、保健事業実施計画（データヘルス計画）を作成する。また、計画で定める評価指標の評価にも本システムを活用していく。

### 4、介護保険事業計画策定のための統計分析

○介護保険事業計画の策定にあたっては、高齢者人口や要介護認定者の将来推計を行い、介護保険サービス施設の整備目標を設定し、今後3年間の介護給付費等を見込む必要がある。

○近年、65歳以上の高齢者人口が増加しているが、特に75歳以上の後期高齢者の増加が著しく、新宿区では、2017年には高齢者人口のうち後期高齢者が占める割合は半数を超える、2025年には約6割になると推計されている。また、要介護認定者では、85歳を超えると、認定率が5割を超え2人に1人が要介護認定者となる。

○このような現状から、今後は、後期高齢者が増加することによって、医療が必要な要介護認定者が急増すると推測される。今まで介護サービス給付費を見込むにあたっては、過去のサービス利用実績や、要介護認定者の増加を踏まえて見込んでいた。しかし、本システムの導入により、要介護認定者の有病状況を把握、分析することで、訪問看護などの医療系サービスをより適切に見込むことが可能となり、円滑な介護保険事業の運営を図ることに繋がる。